

Rotary



ロータリー
変化をもたらす

2017~2018 年度

国際ロータリーテーマ

ロータリー 変化をもたらす

国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー

第 2790 地区ガバナー 寺 嶋 哲 生

第 6 分区ガバナー補佐 志 田 延 子

東金ロータリークラブ会長 秋 葉 芳 秀

〃 幹事 並 木 孝 治

東金ロータリークラブ 概要

Togane RC Information

創 立 1959 年 9 月 15 日

R I 承認 1959 年 10 月 17 日

例会日 火曜日 12:30~13:30

例会場 東金商工会館 4 階

Makeup fee ¥2,000

WEB <http://www.togane-rc.jp/>

事務所 〒283-0068

千葉県東金市東岩崎 1-5

東金商工会議所内

TEL 0475-52-1101(代)

FAX 050-3730-2559

E-mail info@togane-rc.jp

第 59 巻第 26 号 通巻第 2794 号

第 2816 回 例会

2018 年 (平成 30 年) 5 月 15 日

12:30 点鐘 商工会議所 4 階例会場

Program

開会宣言・点鐘 秋葉 芳秀 会長

歌 「我等の生業」

四つのテスト唱和 並木 孝治 幹事

お食事 かしま

会長挨拶 秋葉 芳秀 会長

幹事報告 並木 孝治 幹事

ニコニコBOX発表 親睦委員会

出席報告 管理運営委員会

閉会宣言・点鐘 秋葉 芳秀 会長



ロータリー:
変化をもたらす

第 2815 回 例会の記録 <5 月 8 日>

会長挨拶



秋葉 芳秀 会長

今日は、米山奨学生ニサの卓話ですので、後ほど、日本で学んでいること、感じていることなどのスピーチがあります。ニサは前奨学生ナレットと比べると日本語が非常に上手です。

さて、前回の例会は4月17日でしたが、その後の21日に船橋西RCの50周年記念式典が幕張のホテルマンハッタンであり、秋葉、高橋、野口の3名が参加しました。船橋西RCの会員数は三十数名ですが、その内女性会員が8名おり、「賑やかなクラブ」という印象でした。是非、お手本にしたいと考えております。

またN響の男性管楽器演奏が、素晴らしかったです。

更に29日は、APA幕張で地区研修協議会があり、秋葉、並木、古川、小林、岡本、菅原、宇野の7名が参加しました。

午前中の全体会議での紅一点の挨拶者は勝浦RCの次次次ガバナーの漆原さんでした。漆原さんのご挨拶は丁寧で、そしてゆっくりと話され、表情も明るく、耳に

心地よく響いてくる「そつがない挨拶」で、隣席の古川秀夫さんと感心しました。私は、皇后陛下が若いときの雰囲気によく似ているような感想を持っております。

本年7月からのガバナーは橋岡様で、お能の第一人者です。これからのロータリーは楽しみです。

最後に、前米山奨学生ナレットの出身国カンボジアでの、スマオン小学校屋根の修理事業ですが、地区よりOKの内示をいただきました。先程の理事会で、行動隊としてのプロジェクト立上の承認を得ましたので、とりあえずメンバーは秋葉と小林信雄の2人でスタートします。

ナレットとの打合せ、現地の状況確認、業者の選定、そして国内での先達者たちとの交流など、やることが沢山あります。皆様のご協力と、知恵をお貸し下さい、宜しくお願いします。

幹事報告



並木 孝治 幹事

○寺嶋ガバナーフェアウェルパーティ

6月15日(金) ホテル ザ マンハッタン 会費 12,000 円

- ファシリテーター養成講座の募集
- 5月11日希望の風セミナー
- 「寄付ゼロクラブがゼロになりました」
宇佐見パストガバナーより 報告とお礼

結婚・誕生 お祝い

結婚お祝い 中村隆則会員（左）長尾邦俊会員（右）



誕生お祝い 鈴木君江 事務局（右）



米山奨学金カウンセラー委嘱状

授与



小林信雄 カウンセラー（右）

米山奨学金 授与



米山奨学生 アニス コイルン ニサ さん（右）

欠席・Makeup の連絡は、前の週金曜日までに
（緊急の場合は当日 10 時までに）事務局宛に、
電話・FAX・Eメールにてお願いします。
メーキャップ先への事前連絡もお忘れなく。

電話 090-7634-7175 / FAX 050-3730-2559
Email: info@togane-rc.jp

出席率

5月8日

| 会員数 | 出席率 | コイン BOX |
|------|--------|---------|
| 15 名 | 86.66% | 2,120 円 |

卓話



アニス コイルン ニサ さん

米山奨学金オリエンテーションにて

こんにちは。今回のスピーチが始まる前に「米山ロータリー」の方にこの場をかりて、感謝の気持ちを述べたいと思います。先日4月14日に千葉グランドホテルで奨学生のオリエンテーションが開催された時、ロータリアンの方々の役割についてわかりやすい説明を受けました。その最中に説明をしていた方が突然マイクで私に「今日の礼拝は大丈夫ですか？もし必要であれば、場所を用意しているので言ってくださいね、そして用意されている食事で食べられないものがあれば遠慮なく言ってくださいね」と言われました。

突然の事で私はびっくりしましたが、個人的に私と二人の時に話すのではなく、皆の前でマイクを通して言ってくれたことで、私の宗教的なことを、その場にいたすべての人がそこで理解してくれたと感じ、とても大きな感動と感謝の気持ちいっぱいになりました。

ロータリアンの方々の異文化への理解はとても素晴らしく、その場にいた各国の奨学生は国籍の壁もなく、皆が一人の人間として笑顔があふれる楽しい時間を過ごしました。ロータリアンのミッションである国際平和と架け橋に私は大きく共感しました。米山ロータリーの皆さま、本当に貴重な時間をありがとうございました。

日本のお婆さん

それではスピーチに入りたいと思います。ロータリアンの皆様、今回の奨学金をいただき、誠にありがとうございます。今回、私は日本とインドネシアのお婆さんの精神について、お話ししたいとおもいます。

私は日本へきてからもうすぐ3年になります。日本へ来たばかりのころ、ある日私は道を歩いていると、60歳のとてもセクシーなお婆さんに突然声をかけられました。そのセクシーなお婆さんはお店の前において、そのお店の看板にはスナックだと書いてあり、表はなんだかキラキラしていました。インドネシアでこのようなお店を見たことがありませんので、私はびっくりしました。そのお婆さんは「かわいいね、どこの国からいらっしゃったの」「アルバイトをしたくないの、ここで、アルバイトの時給は1200円だよ」と言いました。私はスナックは、英語でお菓子だという意味なので、そのお店はお菓子の製造をするところだと思いました。寮へ帰ってから、この話を先輩に言ったら「だめだめ」と叱られました。

また、私はムスリムなので、いつも ヒジャブをかぶっています。ある日のこと、スーパーで買い物をしているとき、後ろから、知らないお婆さんが「暑くないの」と話し掛けてきてびっくりしました。また、ラマダンの断食のとき、私は一か月間で毎日朝から晩まで、飲食禁止という宗教的な習慣があります。今年のラマダンは5月17日から6月17日までです。

ラマダンとは知っている方もいると思いますが、不遇な人々の飢えやのどの渇き、その他の苦労をラマダンにより私たちは実感し、それが必要とされているところに慈悲の手を差し伸べることの大切に気付くようになるのです。他の人に対する思いやりや配慮はイスラムの大切な教えです。

ところがある日、アルバイト先の知り合いのお婆さんがお菓子を私に進めながら、「ニサさん食べないと、死んじゃうよ」「食べちゃいな、食べちゃいな」というんです。先に述べたようにラマダンには大きな意味があるので、私はそのお婆さんの親切に困ってしまいました。その他にも周りから見ると、わがままだったり、ピンクのズボンをはいたり、髪の毛を派手な色に染めたりしているお婆さんも多く見てきました。

インドネシアのお婆さんとの違いは何？

インドネシアのお婆さんがそうではありません。インドネシアのお婆さんは派手な生活せず、親切で大人しい生活をしています。

インドネシアと日本のお婆さんの精神の違いは何なのでしょう。これは文化が

違うからです。これには私は2つの原因があるのではないかと考えています。一つ目は平均寿命が違うからです。インドネシアの女性の平均寿命は70歳で、日本の女性は87歳だと厚生労働省やOECDなどの調査から知ることができます。このデータから日本とインドネシアの女性の平均寿命は17歳もの差があることが分かります。

インドネシア人は60歳の時から、老後を迎えると考えています。日本はどうでしょうか。そして二つ目の違う原因は生活の余裕が違うからだと思います。インドネシアは”padi semakin tua semakin merunduk”ということわざがあります。Padi とは米の稲、semakin tua semakin merunduk は時が経てば経つほど周りに頭を下げて謙虚になるべきだという意味です。お米の稲は実が少ない時はまっすぐですが時間が経ってたくさんの実をつけたころ、その稲はこうべをたれて、収穫されます。稲の育つ様子は私達の人生に例えられたと、インドネシアでは考えられています。

インドネシアの高齢者に比べて日本は生活の余裕があり、周りの人に自分の経済力を見せたり、自分の人生を充実させようと考えている高齢者の方が多いのではないのでしょうか。

私は、びっくりすることは多いけれど、日本人のお婆さんが嫌いではありません。思ったことを話して、やりたいことをするところがいいなと思いますし、ずっと元気でいて欲しいなと思います。異国文化に触れて、違う考え方があるということを学び、経験できたことをとても価値があること

だと思います。何十年後インドネシアの平均寿命が伸びて、また、生活余裕が出来たら、そのインドネシアには現在の日本のお婆さんのように髪の毛を染めたり、ピンクのズボンをはいたり、老後を楽しむような時代が来ると思います。それは楽しいような怖いような気持です。そのとき私はピンクの髪の毛をしているのでしょうか。皆さん、どうおもいますか。以上です。ご清聴ありがとうございました。



小林信雄 ロータリー財団委員長

今年も国際ロータリー大会が6月20日からトロントで行われます。今年は野口さんと一緒に行って参ります。クラブを代表して代議員書をお預かりしてまいります。友愛広場では、東金ロータリークラブの宣伝・登録をさせていただきます。

先日、財団委員長の研修会に行参りました。午前中は総会、午後は分科会と研修会で、主な内容は財団の目的、活動内容でした。クラブ財団は、ロータリークラブの活動を広めることを目的としています。東金ロータリークラブは寄付ゼロになりそうだったので、パストガバナーの宇佐見さんからお声がかかりました。さっそく会

長と相談をし、寄付をいたしました。それから間もなく「寄付ゼロクラブが、ゼロになった」とのレターが来たという事は、全国のロータリークラブの中でも東金ロータリークラブからの寄付は最後の方だったのだと思われます。これは今後、心していかなければならないと思いましたので、改めてご報告させていただきました。

結婚お祝い、お誕生お祝いの方々よりスピーチをいただきましたが、紙面の都合上、割愛させていただきます。